

令和5年度 石神第二小学校学校経営グランドデザイン

令和5年度 学校経営方針

子どもと教師がわくわく楽しい学校

ミッション：対話と協働により、すべての児童の可能性を引き出し伸ばす

1 生活科・総合的な学習の時間を充実させます。

いろいろな人と協働し、答えのない課題を解決する力を養います。

- (1) 探究的な学習（地域をテーマに、SDGsの視点から探究し、人のために活動したことを発表会します。）
- (2) 教科横断的な視点（他の教科で学んだことを活用します。）
- (3) 地域のよさの実感（地域をテーマに進めます。）

2 算数の学力を向上させます。

児童一人一人の学習状況を把握し、それぞれの学力を向上させます。

- (1) 「わかった」、「できた」（学ぶ楽しさを実感させます。）
- (2) 少人数コース別学習、教科担任制等（児童の実態に応じた学習方法・内容にします。）

～学力重点目標～

- 体験的・問題解決的な活動を取り入れた学習や主体的・対話的で深い学びに向けて授業実践します。
- 基礎基本の確実な定着を図ります。
- 発達段階に応じた自己マネジメント力を醸成します。
- 急激な社会の変化の中で、自分の人生を切り拓くために必要な資質・能力の向上を目指します。
- 幼小・小中接続を意識した教育活動を推進します。

<教育目標>

- 進んで学ぶ子ども
- 明るく思いやりのある子ども
- 最後までがんばる子ども
- 健康で元気な子ども

<重点目標>

自分で考え 行動しよう

III 生き抜く力の基盤となる

健やかな体の育成

○たくましい体を育成します。

- ・運動身体づくりプログラムの継続実施
- ・教科体育の充実
- ・自分手帳の効果的な活用
- ・日常的な外遊びの推進
- ・地域の指導者や専門の講師の積極的な活用

◎望ましい食・生活習慣の定着を図ります。

- ・望ましい生活習慣の日常的な指導と家庭への情報提供・連携推進（メディアの適切な使い方、朝食 摂取率100%、十分な睡眠時間の確保）
- ・野菜づくり体験学習の実施
- ・栄養教諭とのTT授業の継続実践
- ・「マイペンとうの日」を関連させた食生活への意識向上に向けた取組

○自他の生命を守る判断力と実践的な態度を育成します。

- ・自校の実態を踏まえた安全教育・防災教育の意図的、計画的な実践（放射線教育、防災教育、避難訓練、引き渡し訓練等）
- ・日常的な目配りや点検による危険防止と安全管理の徹底

I 学力の向上

○体験的・問題解決的な活動を取り入れた学習や主体的・対話的で深い学びに向けて授業実践します。

- ・「学びのスタンダード」「南相馬市授業改善プラン」に沿った共同歩調での授業実践
- ・思考を深めたり広げたりできるようなコーディネート工夫
- ・自分の考えを表現し、友達の考えを認め合う態度の育成指導の重視（学校評価アンケート85%以上）

○基礎基本の確実な定着を図ります。

- ・根拠を明確にして書く学習活動の指導の重視
- ・「まとめ・振り返り（適用・習熟も含む）」の時間の確保
- ・個に応じたきめ細やかな指導（教科担任制・習熟度別指導・ICT支援員・学習支援員など）
- ・6年間一貫した学習規律の確立
- ・望ましい学習習慣・読書習慣の確立

○発達段階に応じた自己マネジメント力を醸成します。

- ・家庭学習スタンダード、各学年自主学習の手引きを活用した自己マネジメント力の醸成

○急激な社会の変化の中で、自分の人生を切り拓くために必要な資質・能力の向上を目指します。

- ・「思考力」「判断力」「表現力」の育成を重視した「総合的な学習の時間」の充実
- ・地域に根ざした「南相馬ふるさと教育（至誠学：まごころ学）」を効果的に進めるため、系統的な学習計画の作成と実践

○幼小・小中接続を意識した教育活動を推進します。

- ・実態を踏まえたスタートカリキュラムの活用
- ・学校種間での授業交流

<基本方針>
学校と地域・家庭が
連携・協働し、「手が届く」
「目が届く」「心が届く」
教育活動を推進する。

II 豊かな心の育成と 互いを認め合う集団づくり

○多様な体験活動の充実を図ります。

- ・「自分を大切に」「友だちを大切に」精神の涵養のための授業実践
- ・「感動と感謝」「自己肯定感」を育む教育活動の工夫

◎思いや考えを伝え合い、自他の生き方を考える道徳教育・人権教育の充実を図ります。

- ・いじめアンケートの有効活用、いじめ見逃し「0」にむけた指導の重視、SOSの出し方教育の実践
- ・児童虐待未然防止のための見守り強化

○学校司書と協働・連携して読書活動を推進します。

- ・家庭読書（毎月第3日曜）の実施
- ・読書タイムの推進、読書時間の確保の工夫

○教育相談・特別支援教育・生徒指導の充実を図ります。

- ・共通理解にもとづく組織的な対応
- ・子どもの実態把握と指導支援
- ・QUTESTの効果的な活用
- ・学級の枠をこえた学年（ブロック）経営

○キャリア教育の充実を図ります。

- ・キャリア教育を意識した教科指導の推進
- ・キャリアパスポートの活用

IV 開かれた、時代に沿った 学校づくり

○説明責任を果たすことができるよう積極的に情報を発信します。

- ・各種通信等の発行、HP更新

○学校評価の更なる充実を目指します。

- ・児童・保護者アンケートを生かした自己評価及び学校関係者評価の実施と公表

◎地域・家庭との連携・協働に立脚したカリキュラムマネジメントを実践します。

- ・地域の環境や人材・施設の積極的な活用（石神生涯学習センター、まちづくり出前授業）
- ・子どもたちが将来、社会で活躍するのに重要なキャリア形成（ロボットテストフィールド、ゆめサポート南相馬、スバル自動車）

○教育の質及び子どもと向き合う時間を確保します。

- ・業務の効率化による働き方改革の推進
- ・Build&Scrapという視点に立った教育活動の見直し・改善